

堺から“DX”で新規事業創出を——

651.32

%

\$

657.43

堺NeXt+Drive

| 令和7年度 | 堺NeXt Drive | 堺市DX新規事業創出業務 |

2026 2.26 **Thu.** 14:00→16:30
 支援対象企業による **成果報告会開催**

／ 観覧者募集 ／

堺 NeXt Drive の支援対象企業による成果報告会を開催いたします!!

成果報告会では、実際に生まれた新規事業や企業がどのように変革を進めたのか、そのリアルなストーリーをお届けします。

「自社にも活かせるヒントがあるかもしれない」「次年度は自分たちも挑戦してみたい」「地域の企業の挑戦を応援したい」—

32

そんなきっかけを見つける場として、ぜひご参加ください。

開催場所



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

大阪公立大学 イノベーションアカデミー
スマートエネルギー棟 ステージエリア



【アクセス】

南海高野線「白鷺駅」から徒歩7分
 Osaka Metro 御堂筋線「なかもず駅(5号出口)」から徒歩15分
 公共交通機関でお越しください。(駐車場はございません)

実施方法

◆ハイブリッド開催
 (現地+オンラインでの開催)

定員:50名(現地参加)

参加対象者

- ◆ DXや新規事業に関心のある全国の企業経営者・担当者
- ◆ 次年度の堺NeXtDrive参画を検討している企業
- ◆ 地域企業との協業やパートナーシップを求める企業・団体
- ◆ 支援機関、金融機関、大学など産学官連携に関心のある方
- ◆ メディア関係者、など

イベントお申込みは
 二次元コードから
 アクセス!
 募集締切
 2/25(水) 13:00まで



「令和7年度 堺 NeXt Drive(堺市DX新規事業創出業務)」の支援内容

- ◆ デジタル技術による新規事業創出方法に関する講座やワークショップの実施
- ◆ 支援対象企業や地域支援機関、地域金融機関など多様な参加者との交流の場の提供
- ◆ 堺DX推進ラボ参画機関、堺市他支援策との”連携支援”
- ◆ DXコンサルタントである”担当メンターによる伴走支援”
- ◆ ”成果報告会”によるプロモーション機会の提供



「堺NeXtDrive」とは

堺市内企業がデジタル技術(D)を活用して新規事業創出やビジネス変革といったトランスフォーメーション(X)に挑戦することを後押しする事業です。参加企業の仲間や市内支援機関等とのDX実践機会を提供します。本事業を通じて、デジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組むモデル企業の創出と、市内企業全体のDX推進に向けた機運醸成を図ります。

2026年2月26日(木) 14:00-16:30
堺NeXt Drive 成果報告会プログラム

- ◆ DX新規事業創出プログラム「堺NeXt Drive」の紹介
- ◆ 支援対象企業による成果報告・トークセッション
- ◆ 次年度事業の告知 ◆ 交流会(※現地参加者のみ)

「令和7年度 堺 NeXt Drive(堺市DX新規事業創出業務)」の支援対象企業

企業名・会社概要

株式会社 アキボウ

スポーツ自転車及びそのアクセサリーの国内販売事業
自転車・オートバイ・自動車のパーツの輸出版事業



Website

株式会社 河辺商会

プラスチック製品の製造及び加工、販売事業



Website

ナカバヤシ 株式会社

文具事務用品の製造販売事業
印刷・製本事業、BPO 事業 等



Website

株式会社 4B

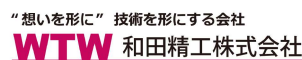
ウイスキー熟成用木製スティック
「TARUBAR (タルバー)」の企画・販売事業



Website

和田精工 株式会社

エンジニアプラスチック射出成型、
ベアリング製造・販売事業



Website

新規事業・デジタル変革の内容

＜“SHIFTA”によるスポーツバイクライフDX＞

自転車業界は、商品の検討から購入後のユーザーとの接点が不足しており、体験価値向上や安全性を確保する仕組み等に課題がある。当社が強みとして持つスポーツバイク商材や販売チャネルと、サイクルライフプラットフォーム“SHIFTA”を活用し、ユーザー・販売店・当社との継続的なコミュニティ、相談窓口、情報発信機能を提供するプラットフォームへと進化させ、スポーツバイクをもっと楽しめる環境を実現したい。

＜“CHOPLATE”の体験共有プラットフォーム＞

主婦・共働き・子育て世代やミニマリストの方々は、「家事を減らしたい」「モノを減らしたい」と考える一方、「おしゃれなものを使いたい」というニーズがある。まな板としても使えるお皿 CHOPLATE は 22 万枚の売上実績があり、このニーズを含む様々な体験価値を提供している。この体験を顧客同士が共有できるコミュニティを構築し、当社と顧客が継続的に繋がるプラットフォームをめざす。

＜“工数可視化が可能な日報ツール”によるDX＞

製造業をはじめ、管理部門の効率化が進んでおらず、収益力の強化に課題を抱える企業が多い。管理部門の効率化が進まない原因として、プロジェクト毎の工数やコストを可視化(数値化)するための仕組みがないためである。各担当者が抱える業務の詳細な工数を把握することが出来るシステムを構築することで、工数削減に向けた改善策の検討等を促進し、企業の収益力強化の支援をめざす。

＜ウイスキーの追熟体験共有プラットフォーム＞

“Tarubar”によってウイスキーの追熟ができることをもっと知ってもらい、ウイスキーの追熟文化を広めたい。この思いを実現するため、顧客とウイスキー蒸留所が参画するウイスキーの追熟体験共有プラットフォームを立ち上げ、顧客同士の追熟体験レビューの共有や、投稿したレビュー内容に基づくAIによるウイスキー×Tarubarの商品提案、蒸留所とのコミュニケーションの場の提供等を通じてウイスキーの追熟文化の拡大をめざす。

＜“課題解決ファクトリー”で顧客と協力会社とつくるDX＞

製造業はDXによる人手不足に対応する自動化、無人化への移行に喫緊の課題がある。自社開発を通じて培った自動化技術と技術人材を活かし、社内工程の自動化促進や、金属混入を検査する機器の開発を進めている。当社が“課題解決ファクトリー”となり、顧客や協力会社への自動化ソリューションの提供を通じて得るフィードバックデータを製品開発に応用することで、顧客のさらなる課題解決をめざす。

お問い合わせ先

【運営事務局】 有限責任監査法人 トーマツ 大阪事務所 【Mail】 sakai_next-drive@tohmatu.co.jp 【担当者】 西岡、青木

【主催】 堺市

【協力】 堺 DX 推進ラボ 公益財団法人堺市産業振興センター 堺商工会議所 株式会社さかい新事業創造センター

【後援】 経済産業省近畿経済産業局 独立行政法人情報処理推進機構